

No. 255 埼玉県公立小学校

令和7年5月26日

校長会速報

埼玉県公立小学校校長会事務局

〒336-0021 さいたま市南区

別所 1-2-8 インテル U403

TEL 048 (711) 9851

発行人 会 長 福島 みどり

編集人 広報部長 川端 浩司

令和7年度定期総会

5月13日（火）、今年度の小学校長研究協議会定期総会並びに研修会が開催された。

全ての議事が滞りなく、かつ慎重審議の上、承認された。以下、簡潔に当日の記録を掲載するが、詳細については、定期総会要項を参照されたい。



福島みどり新会長 挨拶

皆様こんにちは。令和7年度、本会の会長を務めさせていただくこととなりました、川越市立中央小学校の 福島 みどり と申します。微力ではございますが、栗原 孝子 前会長、本日御来賓としてお見えになっている 中西 健二 前副会長をはじめ、諸先輩方の業績に学び、関係各位の御指導をいただきながら、本会の充実・発展のために取り組んでまいります。皆様方の御支援と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

本日、令和7年度定期総会にあたり、公務御多用の中、埼玉県教育局市町村支援部長 吉田 勇様、さいたま市教育委員会学校教育部長 野津 吉宏様、埼玉県公立小学校校長会前副会長 中西 健二様に御来賓として、御臨席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。中西前副会長をはじめ、令和6年度末をもって、役職定年を迎えられました皆様や御退職、御退会されました皆様には、これまで本県教育の充実・発展に御尽力いただきましたことに、心から感謝を申し上げます。また、長年にわたり、リーダーシップを発揮され、学校教育目標の具現化に向けて、教職員を指導・育成し、魅力ある学校づくりに大きな成果をあげてこられましたことに、深く敬意を表します。今後も、御健勝にて御活躍いただき、本会に対しましても、大所高所からの御指導、御示唆をいただければ幸いです。

また、本年度あるいは昨年度途中の人事で、新たに校長となられました新会員の皆様、誠におめでとうございます。皆様には、新進気鋭の感覚、そして情熱で、本県小学校教育に新しい風を吹き込んでいただきたいと思います。

本日の小学校長研究協議会定期総会並びに研修会にあたり、県内の校長先生方に御参集いただき、ありがとうございます。ここに、781名の校長先生方からなる「令和7年度埼玉県公立小学校校長会」がスタートします。本会は、これまで、会員一同、心をついて、真摯に研究と実践を重ね、「学び実践する校長会」として活動してまいりました。また、昨年度から、中央大会につきましては、「埼玉県公立小学校校長会とさいたま市立小学校校長会の共催とし、全員参加を基本とする」としたことにより、「学び実践する校長会」として、オール埼玉で切磋琢磨し、学び合う場となりました。本年度も、この姿勢を継承してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



さて、現在、学校には、いじめや不登校、特別な支援を必要とする児童等への対応など子どもたちに関する課題、学校における働き方改革の推進、教職員の綱紀粛正や資質向上、不審者対応や災害対策等を含めた安全対策など、取り組むべき様々な課題が山積しています。しかし、どのような状況にあっても、学校は全ての子どもたちが安心して楽しく通える魅力ある場所ではなくてはなりません。多様で想定外なことが起きている現代であるからこそ、ことの

本質を見極め、知恵を絞り、組織として力を合わせて前に進む校長会でありたいと思います。校長には、確かな判断力、決断力や実行力など、いくつもの能力が求められますが、教育的愛情、豊かな人間性等をもって、教職員、保護者、地域住民から、そして何より、子どもたちから、信頼されるよう、日々学び続けていく必要があります。

国の第4期教育振興基本計画では、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトに、「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」や「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」など5つの基本的な方針が示されています。私たち校長には、子どもを持続可能な社会の創り手となるように育成したり、教育活動全体を通じて、子ども一人一人のウェルビーイングを向上させたりするとともに、教職員の育成や、教職員のウェルビーイングを向上させることも求められます。教職員が働きやすさや働きがいを実感して、健康で意欲的に、その能力や専門性を大いに発揮することにより、子どもたちへのよりよい教育を行うことができるようにすることが重要です。

昨年度、中央教育審議会から「『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」答申が出され、「教師を取り巻く環境整備の基本的な方向性」として、「学校における働き方改革の更なる加速化」「学校の指導・運営体制の充実」「教師の処遇改善」を一体的・総合的に推進する方策が示されました。また、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」中央教育審議会諮問を受けて、学習指導要領の改訂に向けた議論が始まりました。議論にあたっては、新たな時代にふさわしいあり方を構築する必要があるとした上で、先の答申に基づく教員の勤務環境整備と整合させつつ、「令和の日本型学校教育」を持続可能な形で継承・発展させることが必要であるとされています。

「知・徳・体」を一体的に育む「日本型学校教育」のよさを受け継ぎ、さらに発展させていくことを大事にしながら、校長には、子どもの新たな学びの実現のため、学校教育の質の向上に向けて、管理職として総合的なマネジメント能力を発揮し、適切な学校経営をしていくことが求められています。

このような中、第4期埼玉県教育振興基本計画「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」、第2期さ

いたま市教育振興基本計画「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」のもと、私たち校長が、確固たる教育ビジョンをもち、リーダーシップを発揮して、一つ一つ真摯に実践を積み重ねていくことが、子ども、教職員、保護者、地域にとって「魅力あふれる学校」、そして「信頼される学校」をつくり、子どもたちや教職員のウェルビーイングの向上につながっていくと考えます。

社会の変化が激しく、将来の予測が困難な時代に、未来に向けて、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人材を育成していくために、本会での情報交換や意見交換、様々な課題解決に向けた協議などが一層重要になってくるものと考えております。未来に生きる子どもたちが、夢と志をもち、心豊かに成長していけるよう、私たちは、職責の重大さを自覚して、自ら研鑽に励み、学校経営の充実を図るとともに、本会の研究主題である「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に努めてまいりましょう。「学び実践する校長会」として、781校の校長先生方と課題意識を共有しながら、その解決に向けて、思いや願いを熱く語り合えるような校長会にしていきたいと考えております。そして、本会が、志高く、挑戦し続ける、強くしなやかな組織でありたいと願っております。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本総会及び研修会の開催にあたり、様々な準備等、お力添えをいただきました皆様方に心から感謝を申し上げ、挨拶いたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

来賓挨拶・祝辞



初めに、退会者・顕彰者への感謝状の贈呈が行われた。顕彰者・退会者を代表し、中西健二前副会長から挨拶をいただいた。これまで本会では地域や経験を超えて力を合わせ、対話等により多くを学んできたこと、本会の更なる発展への励ましを頂戴し

た。次に、来賓として臨席を賜った埼玉県教育局 吉田 勇 市町村支援部長から、第4期埼玉県教育振興基本計画より、計画全体に共通する視点「誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進」の取組について、よりよい教育の推進を目的とした働き方改革の推進について、教職員不祥事根絶の取組の推進について、教育行政と校長で力を合わせて諸課題に取り組んでいきたいとのあたたかな励ましをいただいた。

また、さいたま市教育委員会 野津 吉宏 学校教育部長から、さいたま市教育長からのメッセージとして、誰一人取り残されない教育の推進に向けて力を結集し、知・徳・体の調和のとれた実践を行うために、県とさいたま市の校長会がより一層連携、切磋琢磨していくことについて、お話をいただいた。

＝総会議事＝

満場の拍手で承認される

第1号議案から第5号議案まで遺漏なく慎重審議がなされ、いずれも参会者から盛大な拍手をもって承認された。第5号議案では、令和8年度以降代議員制度によるオンライン総会となることが承認された。これをもって本会の本年度活動が正式に幕を開けた。

- 1 令和6年度事業報告ならびに決算に関する件
(1)事業報告 (2)各部事業報告 (3)決算
- 2 令和7年度活動方針案に関する件
- 3 令和7年度事業計画案に関する件
(1)事業計画 (2)各部事業計画
- 4 令和7年度予算案に関する件
- 5 令和8年度以降の総会に関する件

詳細については、「小学校長研究協議会定期総会要項」を参照されたい。

講演

演題 「寝る子は育つの未来を創る

～Pediatric Sleep Health～

講師 千葉 伸太郎（ちば しんたろう）氏

プロフィール

医学博士・東京慈恵医科大学客員教授・太田総合病院記念研究所 太田睡眠科学センター所長・日本睡眠学会副理事長

慈恵会医科大学を卒業後、同大学耳鼻咽喉科に

入局、講師・准教授を務めた後、睡眠研究で世界をリードするスタンフォード大学医学部睡眠生体リズム研究所にて客員講師として睡眠医学研究に従事。帰国後は太田睡眠科学センター所長・慈恵医大客員教授として、睡眠医学の臨床を牽引。特に睡眠時無呼吸症への外科的治療を積極的に進めている。

講演は、参加者の睡眠状況について把握されてから始まった。睡眠負債、睡眠時間とパフォーマンスの関係、医療ミス、睡眠不足が引き起こした事故、睡眠不足による経済損失、死亡率、抵抗力の低下、メタボリックシンドロームの発症の可能性が高まること等について、多くの事例をもとに睡眠の大切さについてお話しされた。世代的に関心が高い話に参観者は惹きつけられた。



日本の子供の睡眠時間の平均は世界で最も少ない。睡眠時間が少ない子供は、切れる傾向が見られ不安、緊張、混乱が強くなっている。子供の睡眠は、心身の成長、学業の成績に大きく影響する。朝食を毎日取る、テレビの視聴時間が短い、就寝時間が早い等の規則正しい生活習慣が身についている児童は学力が高い傾向にある等子供の睡眠についてお話していただいた。

教育の世界には、「早寝早起き朝ご飯」というスローガンがあるが、これは理にかなったものである。大人の生活習慣がそのまま子供に受け継がれている傾向が強い。子供たちの睡眠を含め望ましい生活をするために大切な事は大人の生活改善、社会環境の整備であるとお聞かせいただいた。

最後に今後の睡眠、呼吸を含む社会・医療の方向性などについて触れ私たち教育関係者はどうすべきかを示唆され「まず大人から睡眠を変えることから始めよう」と呼びかけ講演を締めくくった。

今回の研修の学びを職員、保護者と共有し子供たちのより良い成長につなげていく。千葉伸太郎氏には改めて心から感謝申し上げる。

＊運営委員の皆様から講演を聴いての感想が寄せられましたのでご紹介します。

身に染みた「睡眠」の重要性

副会長 上尾市立上尾小学校 島宗 央

誰もが聞いたことのある諺「寝る子は育つ」は、昔から伝えられてきている教訓であり、睡眠の重要性を認識している方も数多いと思われます。自分もその一人ですが、講師の千葉先生が次々と紹介をしてくださった多くの研究結果(エビデンス)から導き出される理論には目が点になりました。これほどまでに「健康」や「成長」に影響を及ぼすものなのかと、4～5時間程度の自身の睡眠を改めて見直し、生活改善に役立てようと決意したところです。また、早速「学校だより」に本研修会での内容を紹介することになりました。保護者への啓発につながることを期待しています。講師を招聘して、リアルタイムに話が聴ける良さが体感できる研修会となりました。

児童も教師も Sleep Health

研修推進部長 三郷市立鷹野小学校 杉原 賢一

睡眠の重要性は、今までも認識していたつもりですが、千葉伸太郎先生の講演を聞いて、改めてよい睡眠、十分な睡眠をとらないことへの危機感を持つにいたりしました。睡眠不足により、パフォーマンスの低下、感染症に対する抵抗力の低下、メタボリックシンドローム発症の可能性、アルツハイマー型認知症の可能性、成長ホルモン分泌の抑制、等、様々な悪影響が生じます。日本の子どもの睡眠時間が、世界一少ない、ということからも、改善の必要性を感じました。また、運動能力の低下や、学力遅進、非行や攻撃的行動が多くなるということでも、睡眠不足は学校教育でも無視できないと感じました。学級指導、保健学習、家庭への啓発等、様々な手段が考えられますが、Sleep Healthについて、取り組んでいけるといいなと思いました。千葉先生は、日本の子どもの睡眠には、社会に責任があるとおっしゃっていました。そして、大人が寝ないということが子どもには良い見本となっていないことから、大人が変わらなければいけないとおっしゃっていました。もちろん教師も適切で質の高い教育を行い、充実した学級経営を進め、児童や保護者と良好な人間関係を築くために、働き方改革を進め、十分な睡眠をとることで心身の健康を確保できるようにしたいと思いました。このように、睡眠という観点から改めて学校経営を見直す

機会をいただいた千葉先生のご講演に、感謝申し上げます。

「睡眠」の大切さをあらためて実感！

対策部長 白岡市立西小学校 辻 文明

朝から大きなあくびをしながら登校してくる児童や疲れがとれず元気なく出勤する教員(自分も含め)を頭に浮かべながら興味深く話を聞かせてもらいました。私が講演を聞き強く感じたことは、「睡眠不足」や「睡眠の質の低下」は現代病の一つだということです。生活リズムや生活習慣の変化など様々な原因はありますが、私たち教育に携わる者としては、もっと真剣に「睡眠」と向き合わなければと身の引きしまる思いです。

この研修会を機に全教職員で「睡眠問題」をもう一度真剣に捉え、児童、保護者、地域と共に課題を共有し、課題解決に向けた具体的な取組を実践しなければと考える貴重な時間になりました。

定期総会、講演会を終えて

幹事長 新座市立大和田小学校 戸高 正弘

定期総会、講演会の進行役を務めさせていただきましたが、皆様のお力添えにより、スムーズな進行ができました。大変ありがたく感じました。

千葉先生のご講演は、今までに少し感じたことはあったことですが、しっかりと睡眠を取る大切さを明確に、多くのエビデンスを元にご教示いただきました。特に睡眠は子どもの発育に、そして大人のアンチエイジングに大きく関わることを改めて教えていただき、本校職員をはじめ、多くの方に伝えていきたいと感じました。

校長の職として、日頃考えを述べたり、会議で話したりすることが多い立場ではありますが、教育とは違った医学の視点からの見方や考え方を学ぶことができ、新たな気づきをいただきました。大変充実した良い機会になりました。感謝申し上げます。

【事務局から】※お詫び

令和7年度定期総会要項の中でお名前に誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

総会要項P4 「① 研修推進部」

・地区選出部員 児玉

(誤) 秋山 高広 → (正) 秋山 高宏

(速報担当：川端・加賀谷・篠崎・菊地・山本・関根・麦倉・村木・阿久津)